

2026年3月期 決算補足説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

目次

1.2026年3月期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結受注高・売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向・売上高の推移
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 連結キャッシュ・フロー
- 8) 地域別売上高

2.設備投資・減価償却費の推移

3.株主還元

4.トピックス

5.FY2025の業績予想の達成状況

6.FY2026の業績予想

1.2026年3月期決算

1) 決算ハイライト

2026年3月期 連結業績

売上高、各利益いずれも過去最高額を達成

受注高



30,239百万円

前期比

1.7%増



売上高



31,648百万円

前期比

7.9%増



- 受注高は、計装システムが前期に大型案件を計上した影響で減少したものの、センサセグメントの需要が大きく増加したことにより全体では増加
- 売上高は、主要顧客の設備投資が堅調に推移し増収 **(6期連続増収)**

営業利益



3,225百万円

前期比

12.0%増



経常利益



3,326百万円

前期比

9.6%増



当期純利益 (親会社株主に帰属)



2,042百万円

前期比

2.5%増



- 利益は、増収効果と継続的な原価低減の取組みにより増益 **(各利益いずれも4期連続最高益)**

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2024	FY2025	対前期増減額	対前期増減率
受注高	29,721	30,239	517	1.7%

	FY2024	FY2025	対前期増減額	対前期増減率
売上高	29,329	31,648	2,318	7.9%
売上総利益 <利益率>	9,366 <31.9%>	9,955 <31.5%>	589 <▲0.4p>	6.3%
営業利益 <利益率>	2,879 <9.8%>	3,225 <10.2%>	346 <0.4p>	12.0%
経常利益 <利益率>	3,034 <10.3%>	3,326 <10.5%>	291 <0.2p>	9.6%
当期純利益 (親会社株主に帰属) <利益率>	1,991 <6.8%>	2,042 <6.5%>	50 <▲0.3p>	2.5%

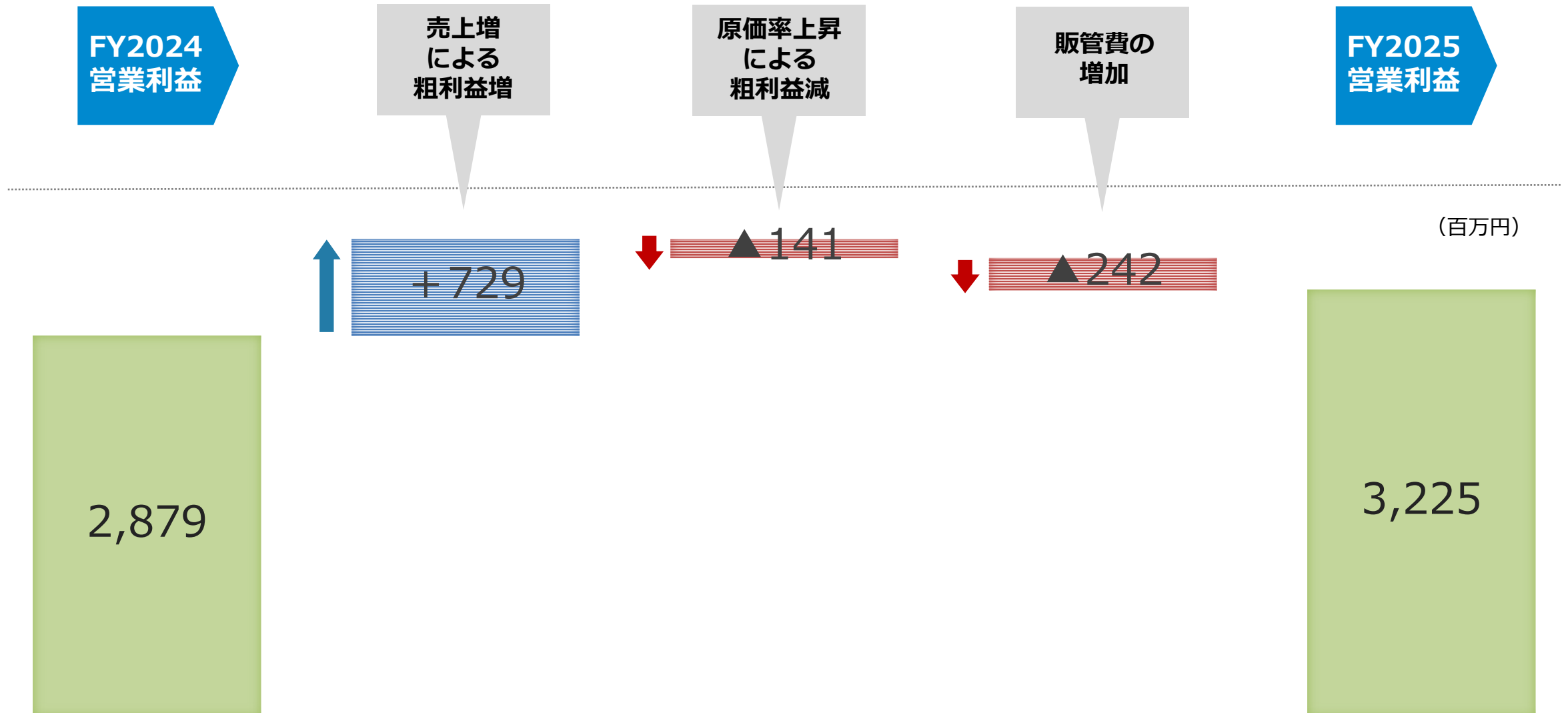
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

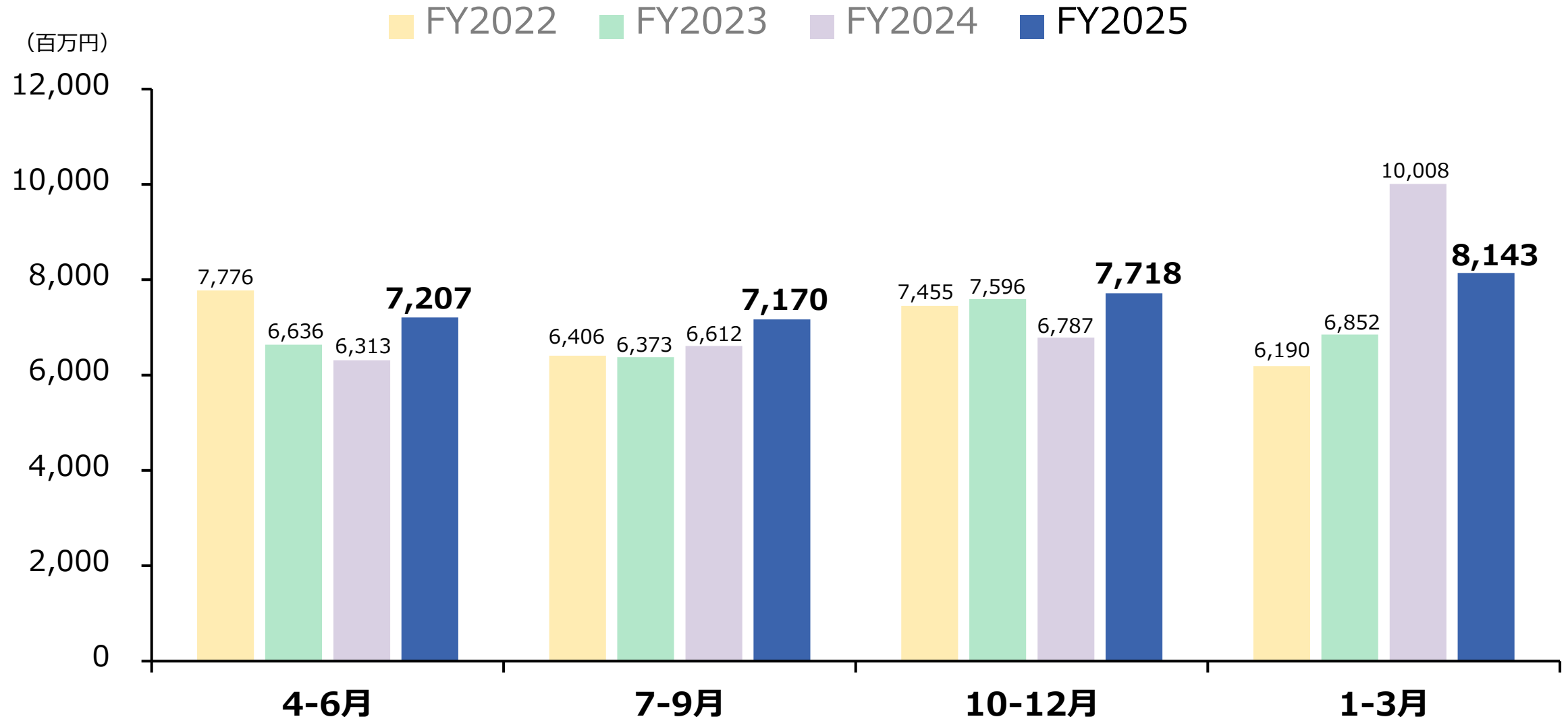
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2024	FY2025	増減額	増減率 (%)	FY2024	FY2025	増減額	増減率 (%)	FY2024	FY2025	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	8,888	9,338	450	5.1	9,744	9,608	▲ 135	▲ 1.4	1,511	1,479	▲ 32	▲ 2.1
計装システム	11,595	10,130	▲ 1,464	▲ 12.6	9,958	11,695	1,737	17.4	1,551	1,663	111	7.2
センサ	8,353	9,788	1,435	17.2	8,597	9,188	591	6.9	1,706	2,098	392	23.0
その他	884	981	96	10.9	1,029	1,155	126	12.3	251	317	65	25.9
全社費用									▲ 2,142	▲ 2,332	▲ 190	—
合計	29,721	30,239	517	1.7	29,329	31,648	2,318	7.9	2,879	3,225	346	12.0

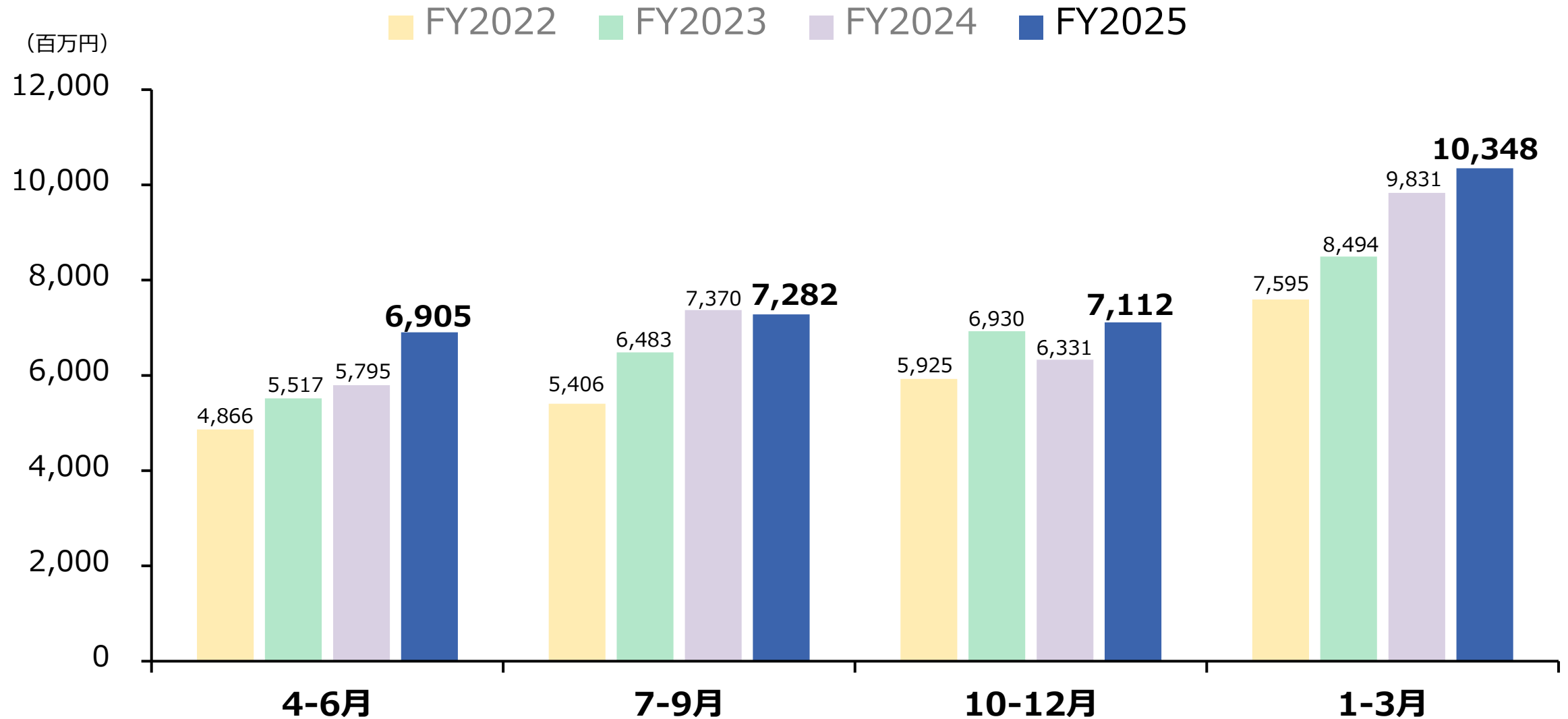
3) 営業利益増減分析



4) 受注高の推移



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向

① 計測制御機器

損益状況

売上高



9,608百万円

前期比

1.4%減



セグメント利益



1,479百万円

前期比

2.1%減

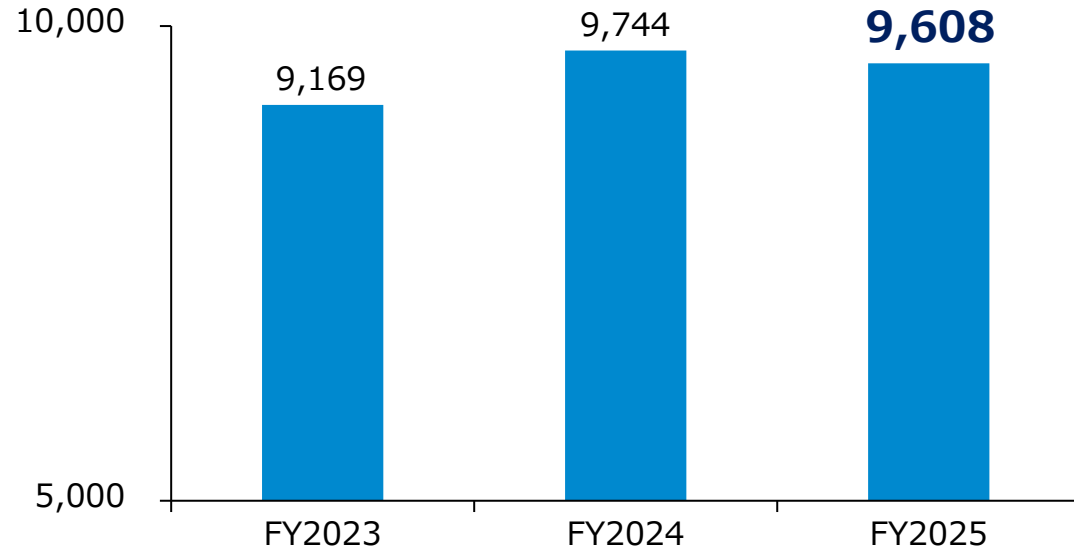


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に全体の需要は堅調だったものの、特定顧客向けOEM製品の一時的な需要低迷により減収
- 利益は、減収の影響等により減益

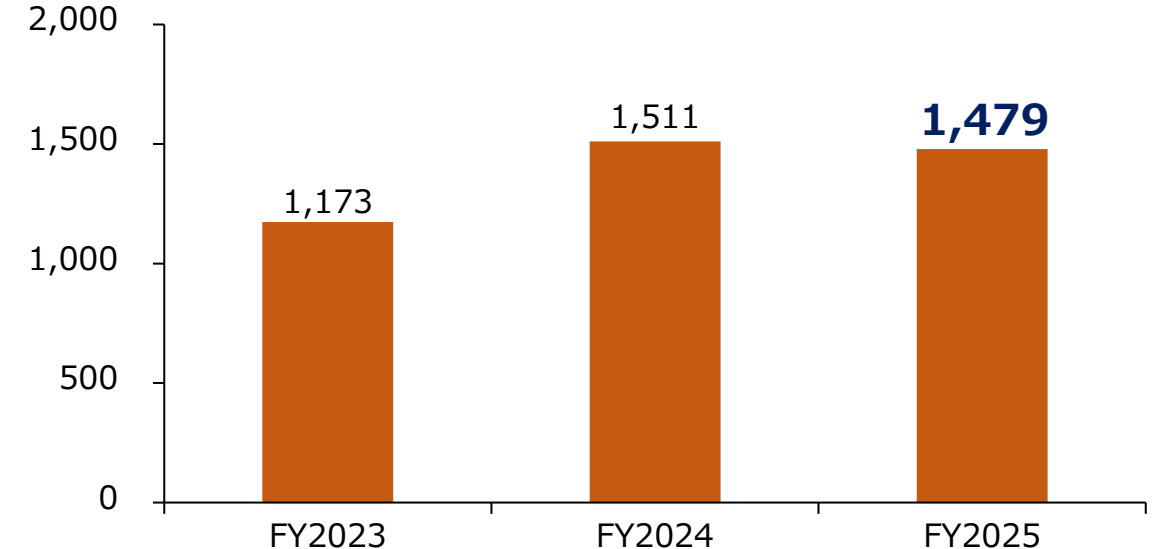
<売上高>

(百万円)



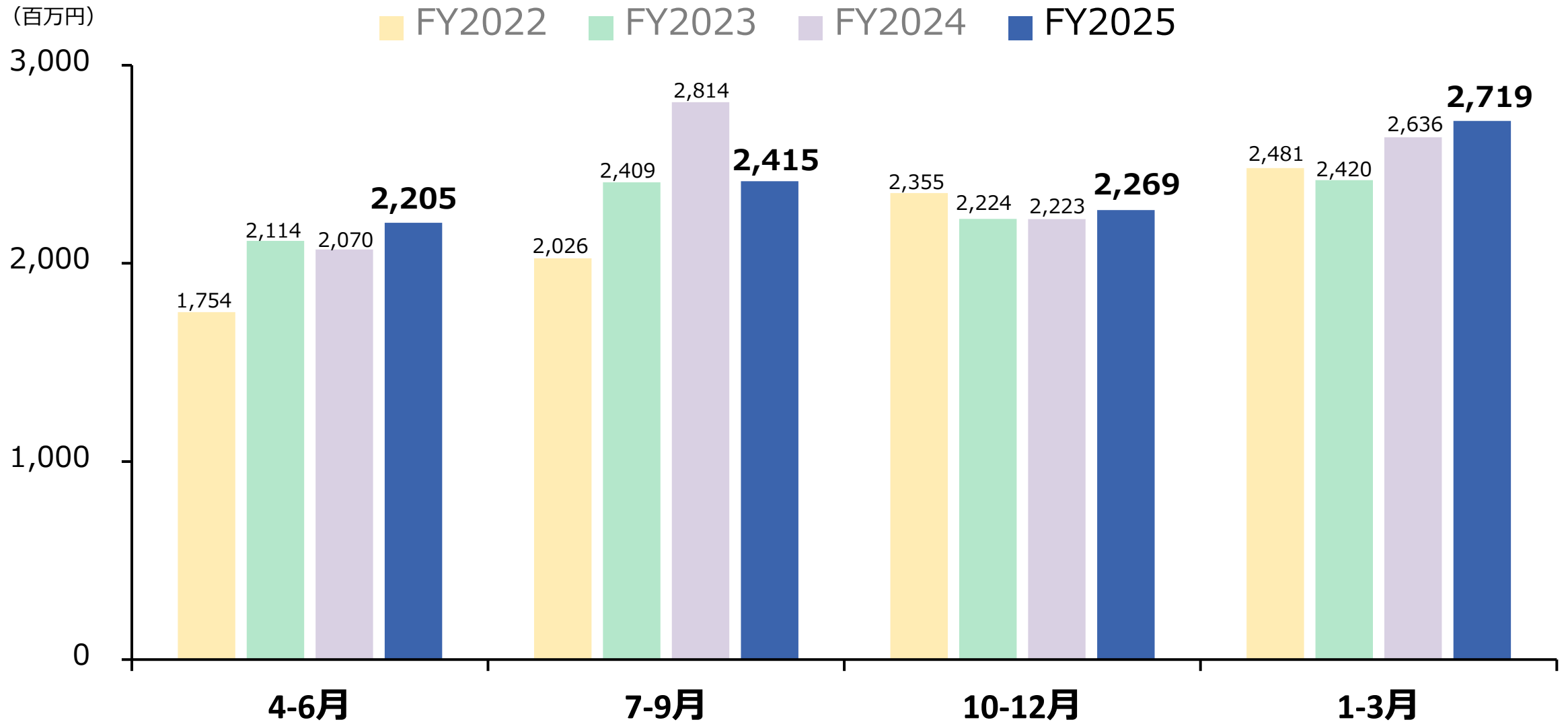
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向

② 計装システム

損益状況

売上高



11,695百万円

前期比 17.4%増



セグメント利益



1,663百万円

前期比 7.2%増

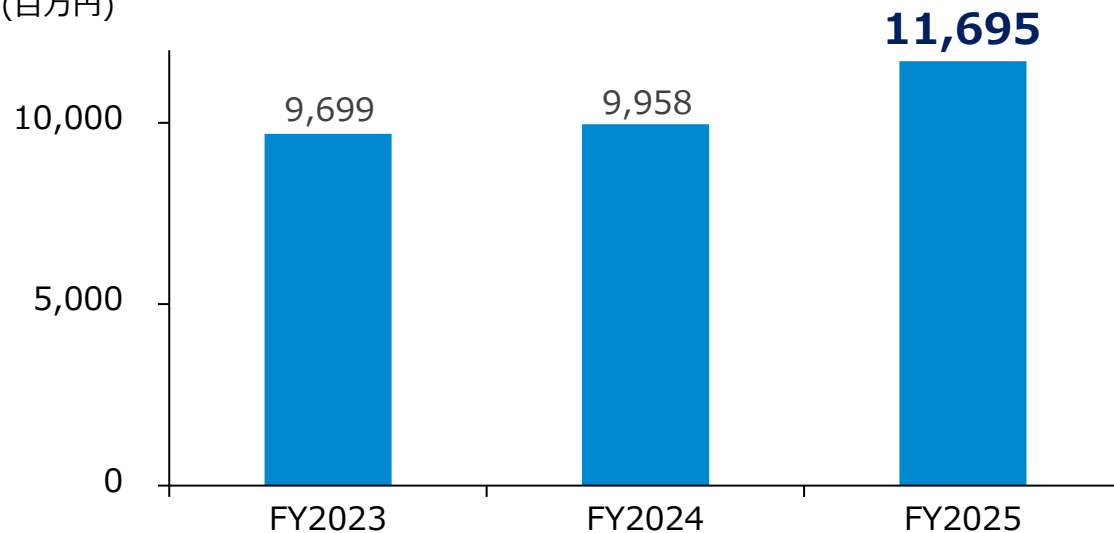


製品別状況

- 脱炭素関連で、自動車向けの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要増により増収
- 利益は、増収効果等により増益

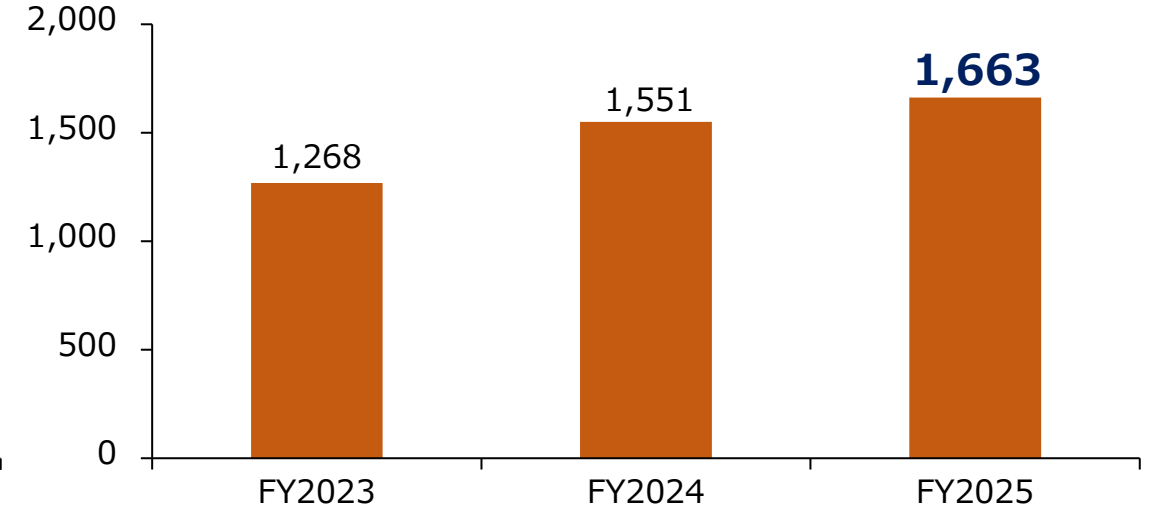
<売上高>

(百万円)



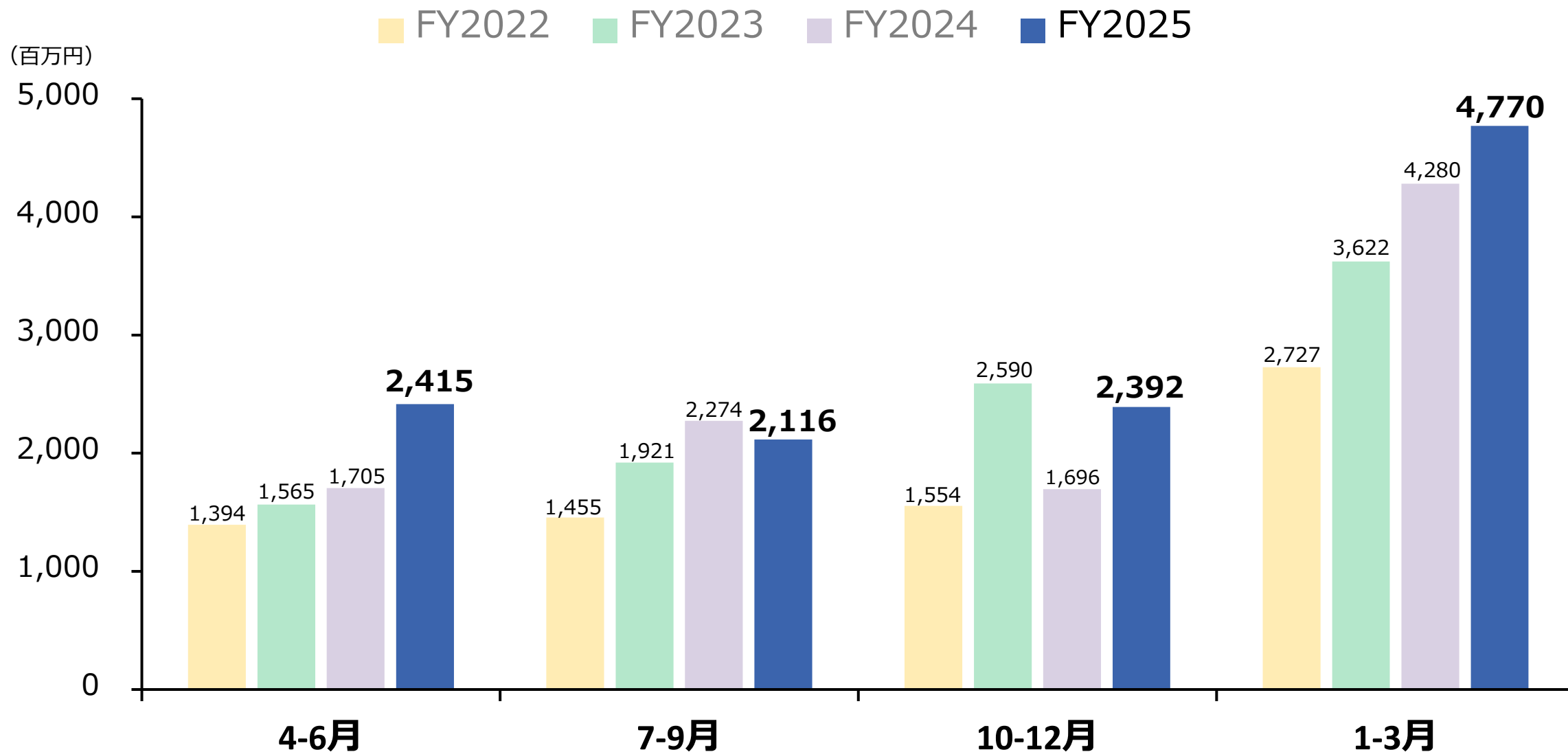
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

② 計装システム



5) セグメント別の業績動向

③ センサ

損益状況

売上高



9,188百万円

前期比

6.9%増



セグメント利益



2,098百万円

前期比

23.0%増

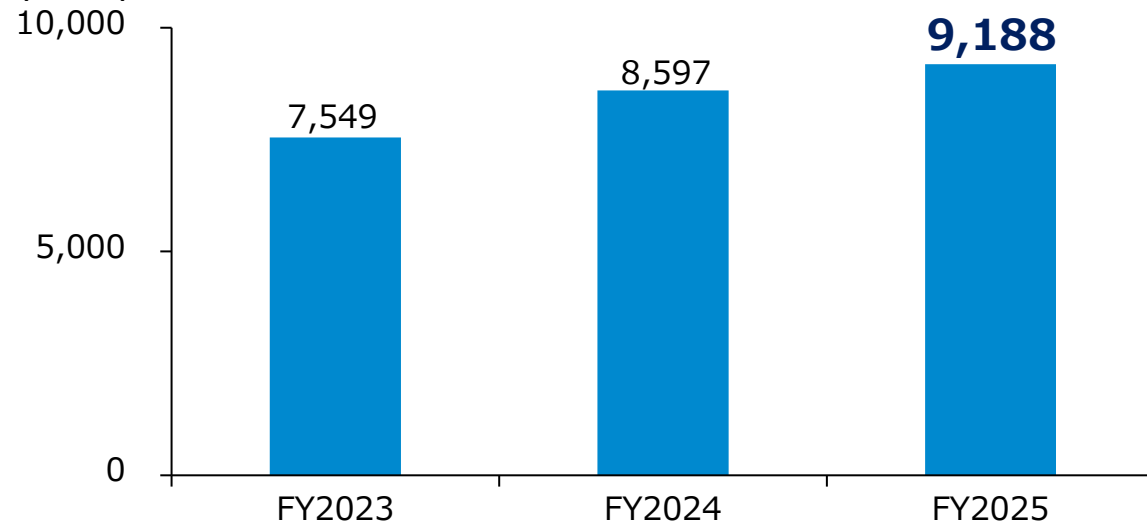


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が好調
- グループ会社・明陽電機(株) (船舶向け温度センサを製造販売) の増収が寄与
- 利益は、増収効果等により増益

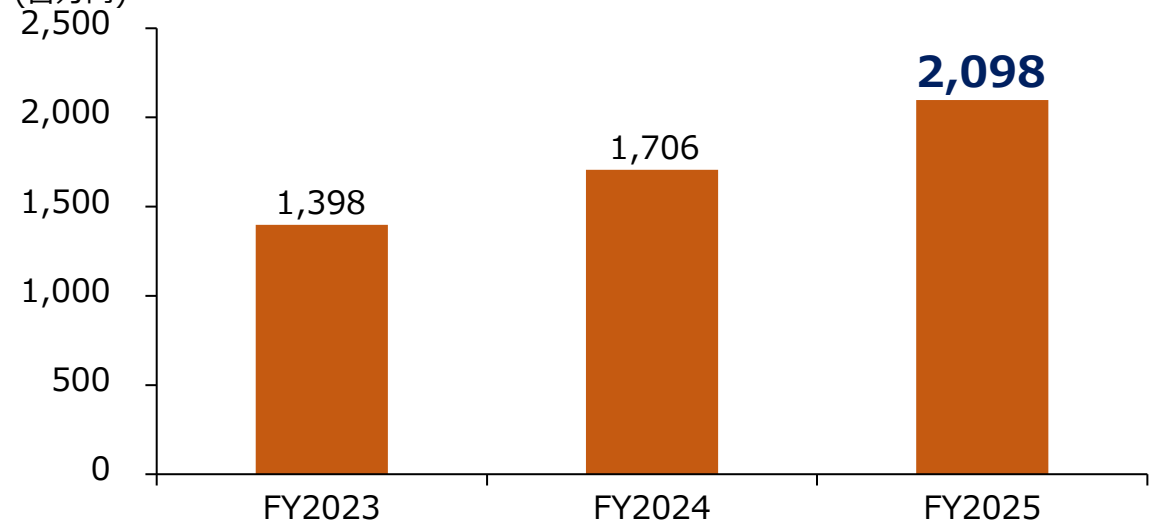
<売上高>

(百万円)



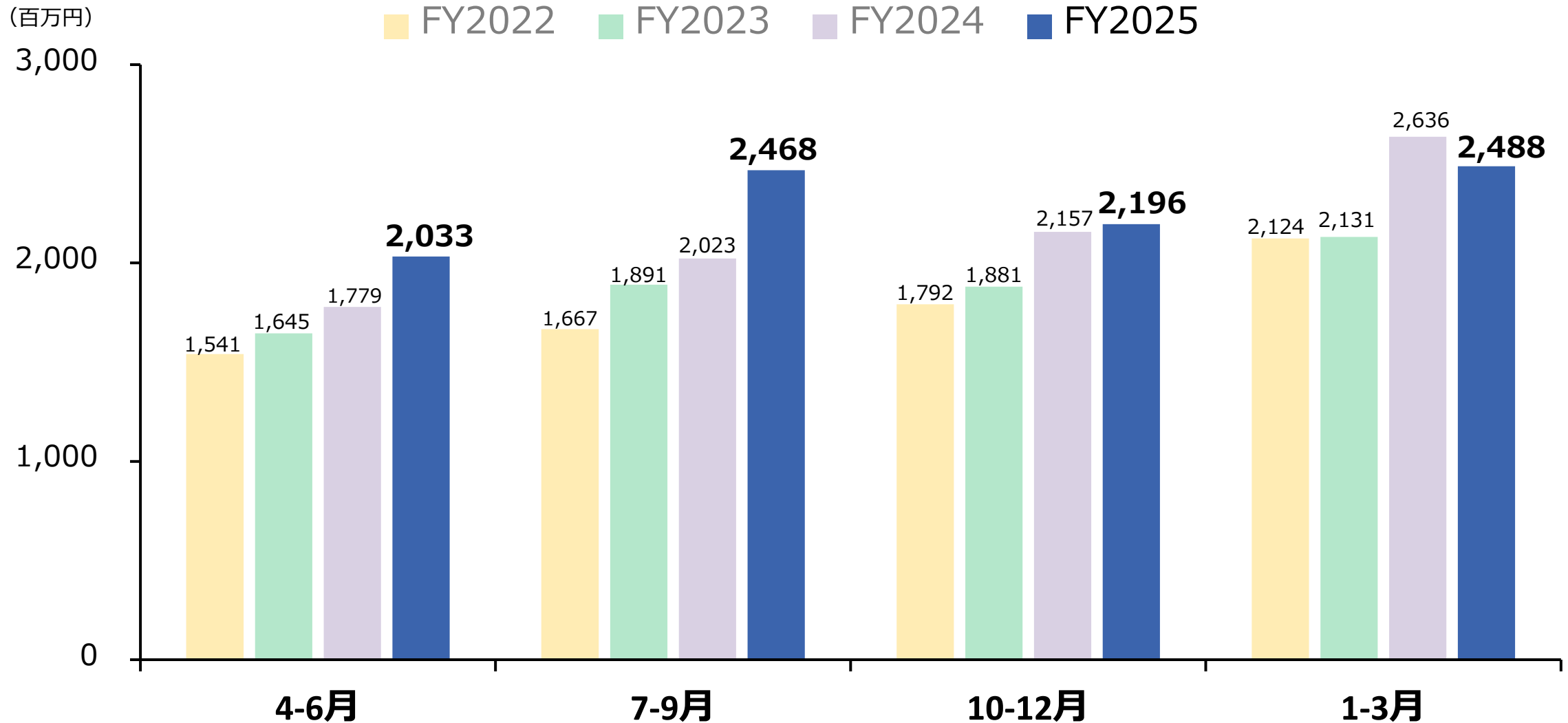
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 現預金・売上債権の増加等により、前期末比+3,344百万円
- 負債 前受金の減少等により流動負債は+332百万円、長期借入金の増加等により固定負債は+1,460百万円となり、負債合計では前期末比+1,792百万円
- 純資産 株主資本・その他包括利益の増加等により、前期末比+1,551百万円

(百万円)

科目	2025年3月末	2026年3月末	増減額
流動資産	27,268	29,579	2,310
現預金	8,127	9,621	1,494
売上債権	8,834	10,202	1,368
棚卸資産	10,069	9,457	▲ 611
その他	238	298	60
固定資産	10,496	11,529	1,033
有形固定資産	6,169	6,487	317
無形固定資産	290	445	155
投資その他の資産	4,036	4,597	560
資産合計	37,765	41,109	3,344

科目	2025年3月末	2026年3月末	増減額
流動負債	9,390	9,723	332
仕入債務	4,026	4,585	558
短期借入金	1,638	1,673	34
その他	3,725	3,464	▲ 261
固定負債	3,341	4,801	1,460
長期借入金	969	2,518	1,548
その他	2,371	2,283	▲ 88
純資産	25,033	26,585	1,551
株主資本	21,120	22,055	934
その他の包括利益累計額	857	1,324	466
非支配株主持分	3,055	3,205	150
負債純資産合計	37,765	41,109	3,344

※自己資本比率〈2026年3月末〉：56.9%（前期末比▲1.3P）

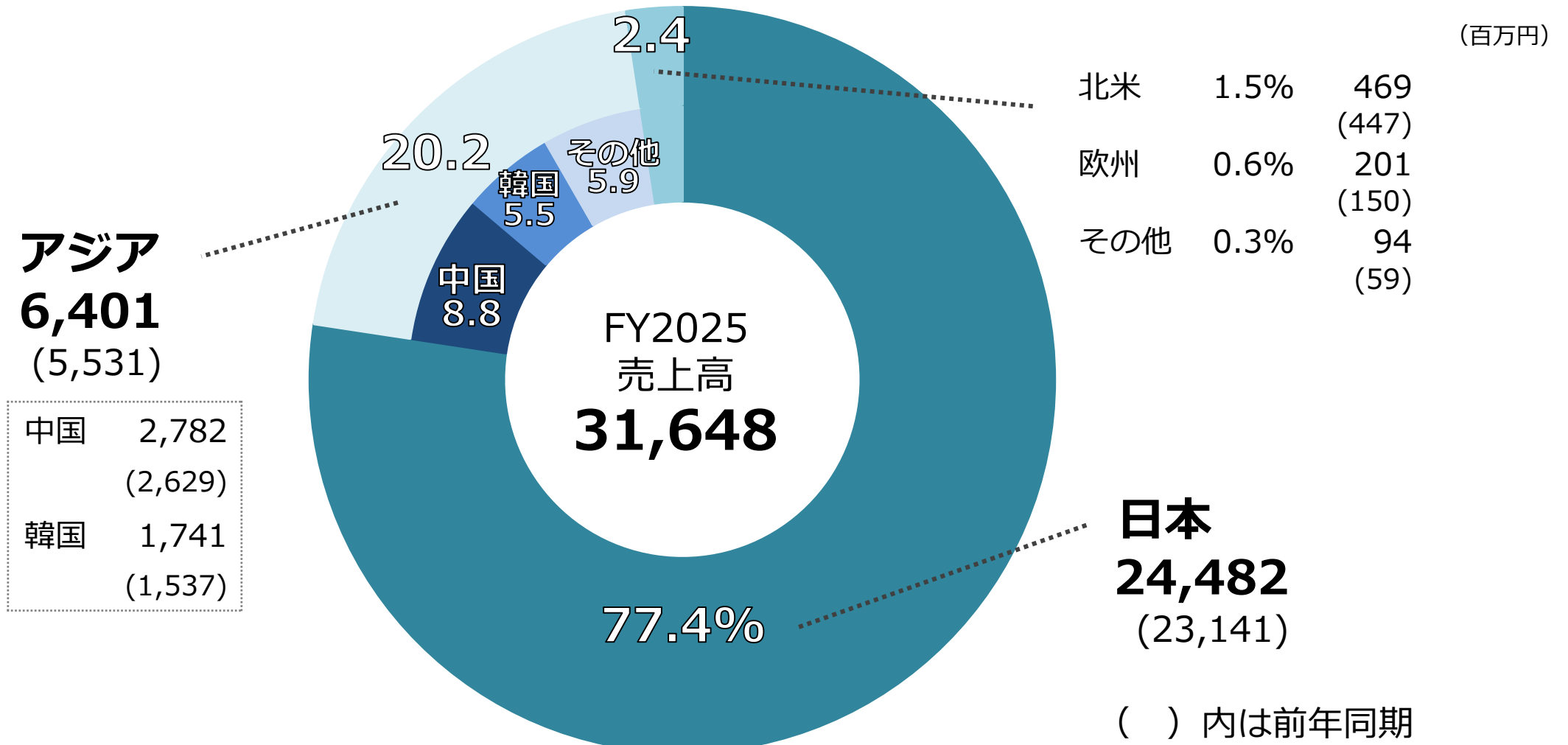
7) 連結キャッシュ・フロー

- 営業CF：営業利益3,225百万円、減価償却費903百万円等の資金増加の一方で、売上債権の増加▲1,346百万円等の資金減少により+2,904百万円
 - 投資CF：固定資産取得▲1,613百万円等により▲1,526百万円
- 以上の結果、フリーCFは+1,378百万円
- 財務CF：借入金+1,583百万円、配当金▲681百万円、自己株式取得▲456百万円等により+293百万円

区 分	FY2024	FY2025	増減額
現金・現金同等物の期首残高	6,742	7,575	833
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,543	2,904	360
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲667	▲1,526	▲858
フリー・キャッシュ・フロー (I+II)	1,875	1,378	▲497
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,103	293	1,397
IV. 現金・現金同等物の換算差額	61	33	▲27
現金・現金同等物増減	833	1,705	872
現金・現金同等物の期末残高	7,575	9,281	1,705

8) 地域別売上高

- 国内売上高：前期比1,340百万円の増収
- 海外売上高：同977百万円の増収(アジア+870百万円<インド+443百万円、タイ+375百万円>)



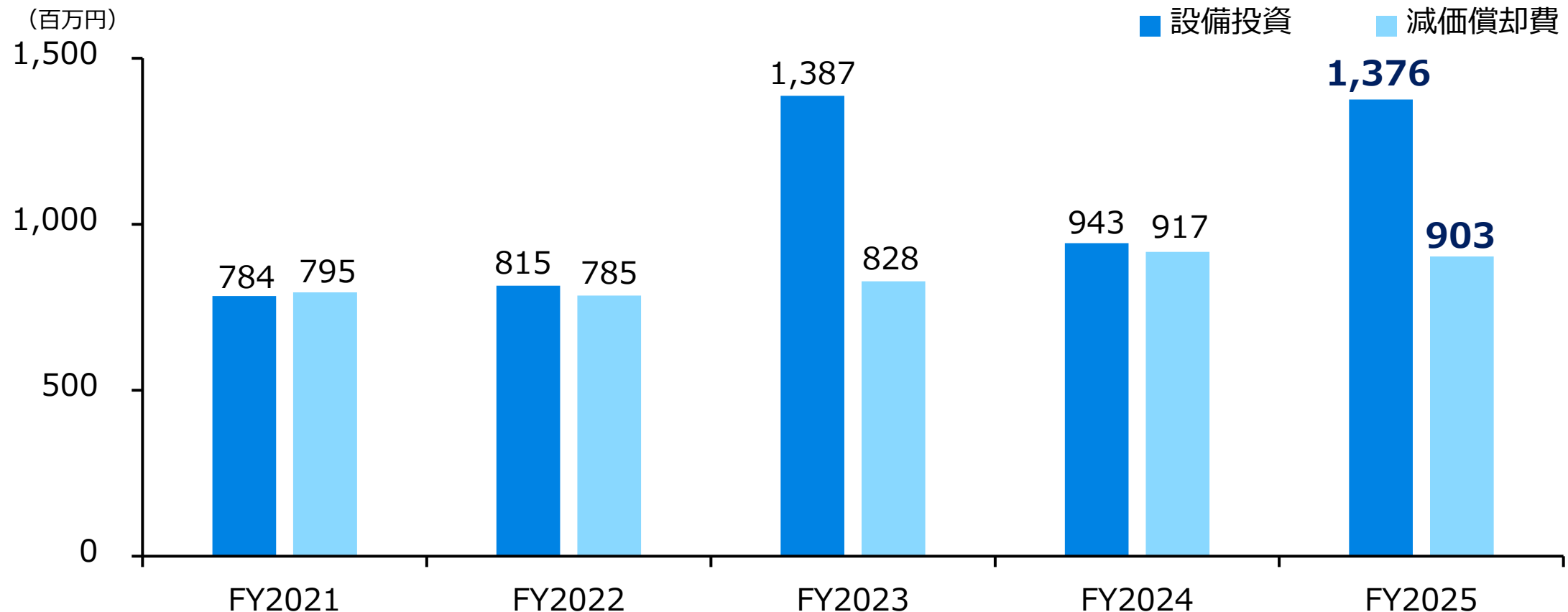
2.設備投資・減価償却費の推移

設備投資・減価償却費の推移（連結）

● 当期の設備投資は1,376 百万円
(前期比+433百万円)

<主な設備投資>

・ 土地取得	681百万円
・ 情報関連	321百万円
・ 生産効率化	195百万円

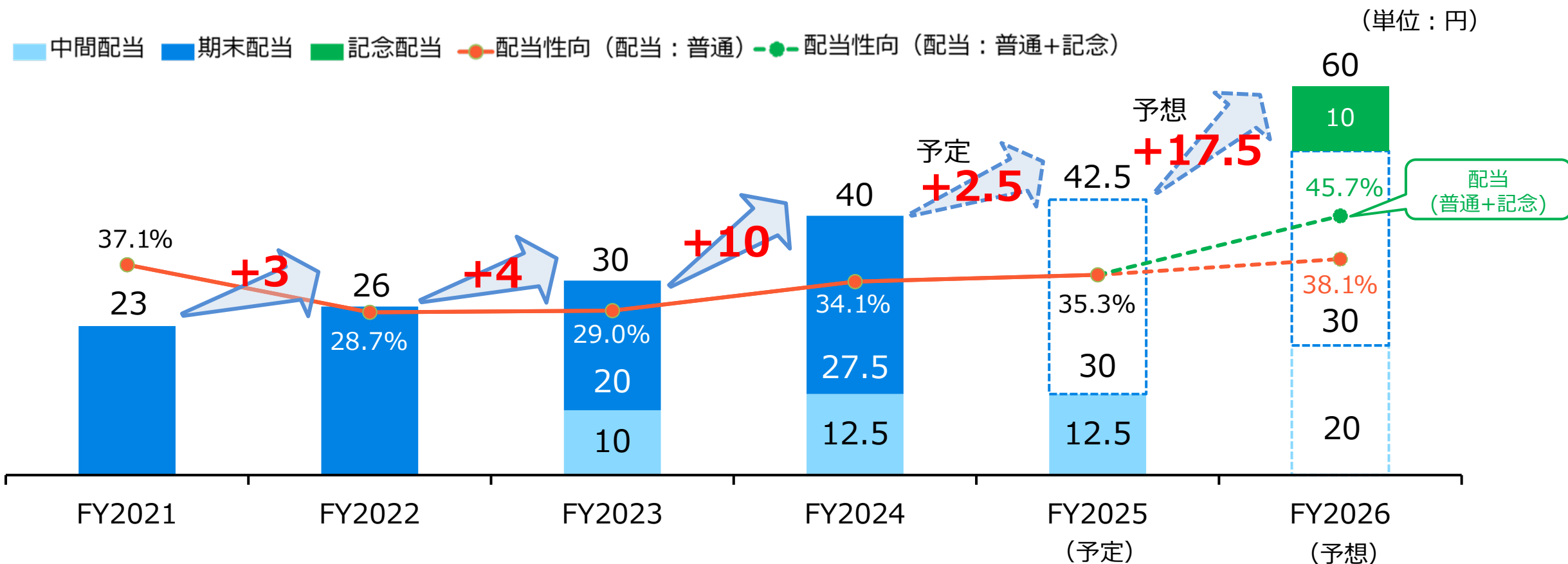


3.株主還元

配当の推移（※株式分割後ベース）

※2025年10月1日付で1株を2株に分割。下記グラフ（FY2021～FY2026）は、株式分割後ベース。

- FY2025中間配当 : **12.5円**
 - FY2025期末配当（予定） : **30円**
- 42.5円（予想）
（前期比 **2.5円増配**）



※自己株式取得実施中 ①期間：2025年11月～2026年11月 ②取得上限：株式総数：860,000株 総額：1,300百万円

4. トピックス

1.株式分割（概要）

目的	<ul style="list-style-type: none">・投資単位引き下げ、投資しやすい環境の整備・株式流動性の向上・投資家層の拡大
分割の方法	普通株式1株につき2株に分割
分割基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

株式分割・株主優待制度の拡充②

2.株式優待制度の拡充（概要）

株式分割に伴い、株主優待制度の対象となる最少保有株式数を引き下げ、従来と比べて利用しやすい進呈条件に変更

<進呈条件の変更>

3月末現在300株(株式分割後ベース)以上保有の株主様が対象

※**300～599株(株式分割後ベース)保有の株主様を新たな対象として追加**

<適用日>

2026年3月末（基準日）より適用

<変更後の株主優待ポイント表（保有株式数：株式分割後ベース）>

保有株式数（株）	ポイント	保有株式数（株）	ポイント
300～599	2,000	1,400～1,999	25,000
600～799	4,000	2,000～3,999	30,000
800～999	8,000	4,000～9,999	35,000
1,000～1,199	15,000	10,000以上	40,000
1,200～1,399	20,000		

自己株式の取得

1. 自己株式の取得（概要）

株主還元を強化するとともに、**資本効率の向上**を図ることを目的として
 2025年11月12日の取締役会において、自己株式取得について決議

1) 取得期間

2025年11月13日～2026年11月12日

2) 取得する株式（上限）

①株数 860,000株

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.05%

②金額 1,300百万円

3) その他

取得する自己株式は、消却予定

2. 自己株式の取得状況（2026年4月30日現在〈約定ベース〉）

①株数 388,500株

②金額 581百万円

「チノレポート2025」を発行

2025年10月31日に「チノレポート2025」を発行しました。

本レポートは、ステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業活動・中長期的な経営の取組みについて深くご理解いただくことを目的として作成した年次統合報告書です。

本レポートをコミュニケーションツールの一つとして、ステークホルダーの皆様との対話を一層進め、今後とも持続的な企業価値向上に努めてまいります。



トップメッセージ



社外役員座談会

＜チノレポート掲載＞



5.FY2025の業績予想の達成状況

FY2025の業績予想の達成状況

- 売上高 : 主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要が拡大し、前回予想を1,648百万円（5.5%）上回りました。
- 利益 : 増収効果に加え、継続的な原価低減の取組み等により、全項目で前回予想を上回りました。

(百万円)

項目	FY2025 実績	FY2025 業績予想 (2025年5月13日発表)	増減	増減比 (%)
売上高	31,648	30,000	1,648	5.5
営業利益	3,225	2,900	325	11.2
経常利益	3,326	3,050	276	9.1
当期純利益 (親会社株主に帰属)	2,042	2,000	42	2.1

6.FY2026の業績予想

FY2026の業績予想

中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰や金融市場のボラティリティの高まりにより不確実性は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野における需要拡大を前提として、FY2026の業績予想は前期比で増収増益と予想

(百万円)

項目	FY2026 業績予想 (2026年5月14日発表)	FY2025 実績	増減	増減比 (%)
売上高	32,500	31,648	852	2.7
営業利益	3,300	3,225	75	2.3
経常利益	3,400	3,326	74	2.2
当期純利益 (親会社株主に帰属)	2,150	2,042	108	5.3

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれています。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO